

|                 |    |
|-----------------|----|
| 麻疹              |    |
| 風疹              |    |
| 水痘(みずぼうそう)      | 1  |
| ムンプス(おたふくかぜ)    |    |
| 百日咳             |    |
| 溶連菌感染症          | 9  |
| 手足口病            |    |
| ヘルパンギーナ         |    |
| 伝染性紅斑           | 1  |
| 感染性胃腸炎          | 11 |
| ロタウイルス(再掲)      |    |
| 便アデノウイルス(再掲)    |    |
| 突発性発疹           | 1  |
| 伝染性膿痂疹(とびひ)     | 3  |
| ヘルペス性口内炎        | 1  |
| アデノウイルス感染症      | 2  |
| RSウイルス感染症       |    |
| マイコプラズマ感染症      | 2  |
| ヒトメタニューモウイルス    | 8  |
| インフルエンザ(臨床診断含む) | 35 |
| インフルエンザA        | 2  |
| インフルエンザB        | 30 |

休園・休校になり、小児科の患者さんは少なく半減しました。

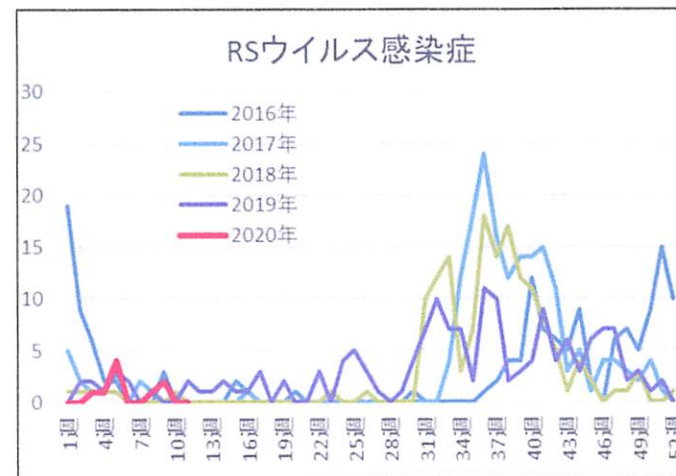
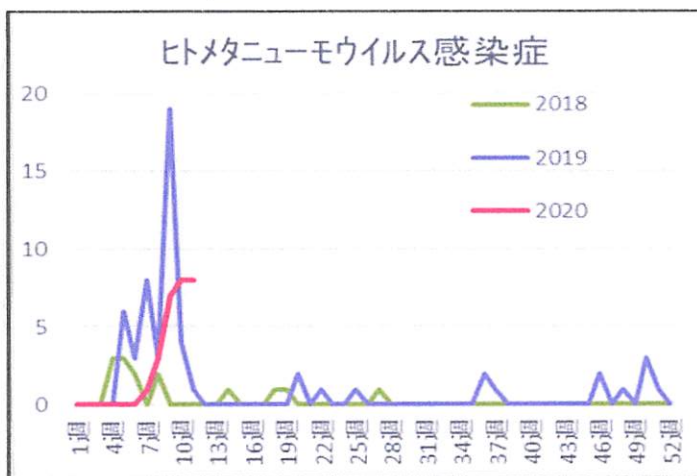
インフルエンザBは、市内の保育園や岡山市の保育園などで施設内流行しています。

溶連菌感染症は、市内各所より報告があります。典型的な咽頭所見のない症例もあります。

感染性胃腸炎は減少しました。

マイコプラズマ感染症の報告は、肺炎例も含めて続いています。

ヒトメタニューモウイルスは、RSウイルスに似たかぜのウイルスの一種です。RSウイルスよりやや年齢の高い1～3歳の幼児の間で流行することが多いのですが、大人にも感染します。1週間程度で軽快しますが、気管支炎や肺炎を起こし、入院が必要になることもあります。下のグラフの様に、冬から春先にかけて流行します。今年は2月になり報告次第に増加しています。RSウイルス感染症と同様に治療法はなく、保険適応もないのでサーベイランスでしています。全員に検査は必要ないので報告数は少ないです。周囲で同様の症状があればヒトメタニューモウイルス感染症と診断して、説明対応しています。症状が長引く場合や呼吸困難がある場合は早めに受診してください。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)